



# ◆ 音響実験コンサート報告 ◆

室内合奏団クレメンティア団長・フルート奏者 湯川和雄

音楽は時間の芸術であると言われてますが、それは空間があるという前提であってこそ言えることです。

私は若い頃、無響音室でフルートを吹いたことがあります。

フルートの音の分析のため某フルートメーカーの実験に参加した時のことです。

その部屋は全ての面が、グラスファイバーで反響を起さない仕組みになっていました。私の立つ床面は鉄の網で出来ており、1mか2m下はやはり他面と同じグラスファイバーで埋め尽くされてる、という構造でした。

そこで吹きますと息をフルートに吹きつける雑音を身体で感じるだけで、耳からは何も入ってこないとい

う何とも奇妙な現象が起こります。それでも吹かなくては仕事になりませんので、とにかく一曲吹きました。

後でマイクが拾った音を聴きますと、ちゃんと音になっていたのでもっとしました。空間の反響は大事なんだなと切実に思いました。



市民会館大ホールの音響実験コンサートは無事終わりました。

ステージの音をホールの隅々まで届ける、という第一目的は達したといっても良いでしょう。その意味でまずは成功でした。

あとは音のミックス、ブレンドの為に、この3月、またまた、市教育文化課、ホール担当者、ふれあい工房のご協力をあおがなければなりません。



## ◆ 「ふれあい工房」 見聞記 ◆

2月はじめの日曜日、我孫子市ふれあい工房へ私事(我家の古くなった椅子の張り替え)のために訪れました。作業に没頭し、教室2つ位の広さの作業場の片側で作成されているものが何なのか、5~6時間全く自覚がありませんでした。

区切りをつけて帰宅しようとしたその時、音響実験コンサートで市民会館大ホールに設置する反響板(全15枚)の内の1枚のボードが立ち上げられているのに遭遇し、はっとした次第です。

ふれあい工房では、常時(月曜日定休)3~4人のアドバイザーと称する方が、訪問者に大工仕事や手作業の助言をしたり、作業をしたりしています。今回、アドバイザーの高須さんを中心に、5~6人の市民会館反響板作成チームが組まれた様でした。

『お世話になります。よろしく願います』とお礼を申し上げましたところ、『仕事のため皆が揃うのは土、日だけなので、残り数枚を早期完成させるために急ピッチで進めている。大変だよ。』とのお答。

舞台上で見るより(多分!)、間近で見た反響板は、随分と高く、大きく、威力を発揮するだろうとの想像に難くない代物でした。まず、それに感激。

そして、殆どボランティアで作業している、と言ってもいいような仕事(多分)を、快くしてくださるふれあい工房の方々へ、感謝感謝でした。

市民ふれあい工房による手作りの応援とは、クレメンティアにふさわしい!と更に感激し、ふれあい工房を後にしました。

(事務局 内田淳子)



### 友の会会員の方からのお便り紹介

★1月30日アピスタでのコンサートを拝聴しました。室内楽をロビーで気軽に身近に感じた次第です。リタイア後に「コーラス・グループ」に所属しながら若い頃(大学生当時からサラリーマン初期)には、「都民劇場」や「森のコーラス」「うたごえ喫茶」に行ったのが…いつの間にか「スナック・カラオケ」に変遷していたのを軌道修正する意味から遅ればせ乍ら取戻しているつもり…。「クレメンティア」の趣旨に同意させて頂くためにも「友の会」への入会を希望しますので宜しくおねがいします。

★先月、実験演奏会を拝見させていただきまして妻も感動しています。更に、4/3の本番を楽しみにしております。奏者の皆さん、裏方の方、サポートする方・・・本当にご苦労様です。

事務局へのお便りやお問い合わせは、下記までお寄せ下さい。お待ちしております。

Eメール: clementia\_fan-owner@yahoo.co.jp

Tel・Fax: 04(7188)1673

〒270-1132 我孫子市湖北台2-7-25

室内合奏団クレメンティア友の会事務局長 山下広之

※会員の皆さんがご住所やメールアドレスなどを変更した場合は、必ず事務局までお知らせください。

※友の会をお手伝い頂ける方を募集中です。ぜひ事務局までご連絡ください。

